平成 27 年 6 月 11 日
理事会：資料―①

# 第 60 回大東市民体育大会総合開会式・まとめ(案)

## 総括

**競技参加者、特に今回は演技者が市内の子どもが中心であったため、その保護者などの観覧者が多く、過去に例のない観客の参加者数であった。**

**参加者数　総数：672 名（内訳⇒観客：92 名、連盟関係：541 名、来賓：19 名、主催者など関係者：20 名）　【参考：669 名(昨年度)】**

## １　準備

- 従来からレプリカ授与が混乱しており、その解決手段として、拡大競技名札の作成(机両面)、机の追加が功を奏したこともあり、スムーズに行われたのではないか。
- 開催の案内は、玄関ガラスへの掲示のみであり、雰囲気や意識を醸成することから、のぼりを体育館周辺に立て、啓発をしてはどうか(ポールは、カーニバル分を使用)。

## ２　当日

- 国旗、市旗、体協旗の掲揚の際、スタンド観客に徹底されず、一部着席のままであり、司会者によるアナウンスはされているが、「場内の皆様」ではなく、「観客の皆様」にするなど、注意を喚起すべきではないか。
- 手に鞄類を持ち行進する参加者が多く、見苦しく感じられるため、その対応として代表が観覧席で待機し、管理してはどうか。
- 行進指導者にマスク着用者が複数見受けられたことから、式典に相応しく対応するよう協力を要請してはどうか。
- 自転車駐輪場の担当の配備、場所の確保は的確であった。また、駐車場の制限もあり自転車での来場が多かったのではないか。来賓駐車場は、もう少し範囲を狭くしてもいいのではないか、他の来客者の駐車場の確保も必要である。
- 退場時、一斉になるため特に駐輪場の整理、誘導が必要である。警備員を配置することで、円滑にできるのではないか。
- 主催者側の上履き準備は事前の伝達をしたため徹底されたが、一部連盟は殆どがスリッパ履きであったため、入場行進直前にスポーツ推進委員からの指示で靴下のままでの行進であったため、さらなる指導が必要である。

## ３　事後

- 各連盟参加者の事務局への報告が十分でなかった。
- 終了後のメダル、賞状の受け取りを徹底すること。

平成 27 年 6 月 11 日
理事会：資料―①

# 第 61 回大東市民体育大会総合開会式について（素案）

○ 体育協会創立 50 周年、市政施行 60 周年記念大会（「冠事業」の位置付け）

「 市政施行 60 周年　体育協会創立 50 周年
第 61 回大東市民体育大会　総合開会式 」

○ 日　　時

平成 28 年 5 月 8 日(日)　午前 9 時 30 分～

※　第 56 回（平成 23 年）5 月 8 日(日)

○ 事業内容

① 事前
啓発の多様化（ネットの活用)、のぼりの作成

② 模範演技
バレーボール連盟

③ 演技・入場行進先導
産業大学チア―リーディング

④ 観客、行進者の参加要請

⑤ 警備員の配置
体育館駐車場および門、四条中学校運動場への配置